



お台場学園だより



令和5年4月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091 港区台場1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

「出会い直し」と「つなぐこと」

校長 大島 一浩

令和5年度が始まりました。お子様の入学や進級に心よりお祝い申し上げます。平成8年度に開校した港陽小学校、港陽中学校は創立より28回目の春を迎えました。小中一貫教育校として、コミュニティ・スクールとして、良き伝統や校風を受け継ぎ、次代を担う子どもたちの学びにふさわしい場となるような学校づくりを、教職員一同、努めて参ります。今年度もよろしくお願ひいたします。

お台場学園の教育目標は、「徳」「知」「体」の漢字3文字で表すことができます。

「徳」は「心豊かで思いやりのある人」です。自分の考えを相手に伝えるだけでなく、相手の思いを受け止めたり、自分が他の誰かのために力を発揮したりできるような人になってほしいと思います。

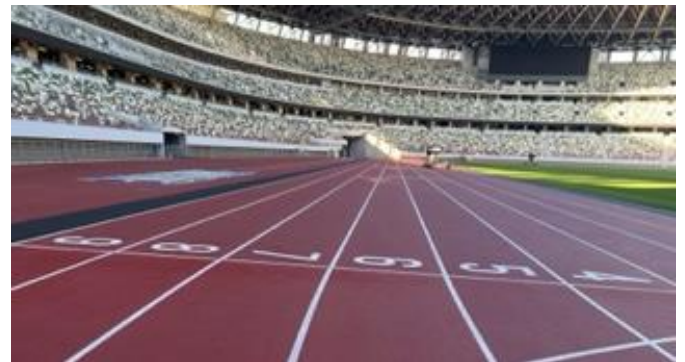
「知」は「自ら考え、自ら学ぶ人」です。目の前の問題を解決するには何が必要なのか、それをどのように活用すればいいのかを考え抜く思考力や、さらに新しいことを知ろうという好奇心をもち続けてほしいと思います。

「体」は「心身ともに健やかな人」です。学校行事や部活動など、目標をもって前向きに努力できる心と体をつくってほしいと思っています。

さて、3年間以上も学校生活に大きな影響を与え続けた新型コロナウイルス感染症もようやく収束に向かいそうです。4月からは、マスクの着用を求めない新しい学校生活の始まりです。マスクを外してお互いに表情を確かめ合いながらのコミュニケーションに戻ります。昔から、学校は出会いの場でした。マスクで隠れない、友達や先生の真の表情との新たな「出会い直し」です。この新たなスタートを大切にしてほしいと思っています。

さて、先月21日(火・祝)には、国立競技場にて、「東京2020レガシー×港区イベント」が行われました。その際、本校からも学校対抗リレーに小中男女4チームが出場し、小学校女子の部では3位に入賞しました。事前に希望者を募り選考会を行って、リレーチームを結成し、小中体育科教員指導の下、中学生がリーダーとなり、計画的に朝練習に取り組みました。一貫校の良いところです。「学校とはリレーのようなものですね。入学式でスタートして、低～中～高学年、中学生となるにつれてどんどん成長して行って、卒業式がゴール。その間の成長を先生方がつないでいく。」これは本校の主幹教諭の言葉です。本校では今年度から小学校のクラス替えを毎年行うことにしました。友達や先生との出会いの機会を増やしていきます。これも「出会い直し」と言えます。

最近、ニュースで「リスキング(学び直し)」という言葉が幾度となく聞くようになりました。いつでも学び直しができる社会は、成長が期待できると言われます。子どもたちの「出会い直し」を、教員が上手に「つなぐこと」で子どもたちを成長させる。これが、学校の使命でもあることを再認識しています。



(国立競技場のトラック)

【生活指導主任より】

昨年度と同様、生活指導にかかわるお願いやいじめ、不登校に関する情報をお知らせしていきます。今年度も教職員が連携し、児童・生徒に寄り添う指導をしていきます。何かありましたらお気軽にご連絡ください。

小学校生活指導主任 駒田 直子
中学校生活指導主任 青山 麻希

【スクールカウンセラー 相談日】

本年度の相談日は、以下の通りです。
あらかじめ学校へ予約をしてご来校ください。
青木 理恵子(継続) 毎週 火曜日 小学校担当
原 由美子(継続) 毎週 月曜日 中学校担当
吉原 道代(継続) 毎週 金曜日 小・中学校担当
電話番号 小学校 5500-2572 中学校 5500-2575

【特別支援教育コーディネーターより】

小学校・中学校では、特別支援教室「そよかぜ教室」を開室しています。特別支援教室とは、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために設けられた教室です。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員を配置しております。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は4月28日(金)までに、担任、特別支援教育コーディネーター中村・松山、または副校長にご相談ください。

